

利用者負担

宿泊利用 1泊2食付 700円 { 組合員、被扶
日帰利用 1日 無料 { 養者共同し。 }

⑧ 保養所利用助成

飯坂保養所あづま荘で元気回復を図る組合員及び被

扶養者の経済的負担の軽減を図るため“あづま荘利用券”を発行して助成したほか、同保養所で組合員の福利厚生の上昇を目的とした会議を行なう場合会議室使用料も助成した。

助成状況は次のとおりである。

月別	利 用 券						会 議 室		合 計
	宿 泊		日 帰		計		件 数	金 額	
	組 合 員	被 扶 養 者	組 合 員	件 数	件 数	金 額			
4 月	件 362	件 16	件 117	件	件 495	円 296,500	件 5	円 39,930	円 336,430
5	487	16	106	16	625	385,500	5	39,050	424,550
6	254	10	79	1	344	206,800	2	29,040	235,840
7	435	19	110	2	566	347,600	6	66,110	413,710
8	383	61	70		514	399,600	8	64,680	384,280
9	290		66	2	358	223,400	6	68,420	291,820
10	336	6	74		416	260,400	3	23,320	283,720
11	566	26	100	9	701	441,900	8	63,250	505,150
12	904	38	144		1,086	695,000	7	46,420	741,420
1	419	42	35	3	499	325,700	7	34,210	359,910
2	376	17	71	4	468	294,200	12	69,630	363,830
3	625	41	75	1	742	480,800	8	159,830	640,630
計	5,437	292	1,047	38	6,814	4,277,400	77	703,890	4,981,290

助成額

利用券

宿泊利用 組合員 700円 被扶養者 500円

日帰利用 組合員・被扶養者とも 300円

会議室

会議室使用料 全額

⑨ 無医地区組合員医薬品配布（新規）

県内の無医地区内に設置されている学校に勤務する組合員の保健福祉の確保を図るため、救急医薬品を配布した。

配布状況は次のとおりである。

	県 中	県 南	相 双	いわき	計
個 数	50	17	47	23	137

⑩ 巡回福祉相談会（新規）

組合員の福利厚生の上昇と確保を図るため、成人病予防検診時の待ち時間を利用して相談会を10会場で行なった。

実施状況は次のとおりである。

ア 主な相談事項

(ア) 退職手当、年金関係 9件
(イ) 共済組合、互助会の諸給付関係 6
(ウ) 継続医療関係 6
(エ) 交通事故関係 5
(オ) 貸付関係 5

(カ) 保健医辞退関係 4

(キ) その他 2

⑪ 新任共済組合員研修懇談会（新規）

本年度当初新採用された小・中学校及び県立学校教職員に対して、県教委が行なう新任教員研修会の一環として共済組合制度、及び事務全般について研修会を行なった。

実施状況は次のとおりである。

期 日	対 象 者	人 員	場 所
4. 16	小中学校	104人	国立磐梯青年の家
5. 13	県立学校	116	"
計		220	

⑫ 教職員スポーツ大会（新規）

県内教職員の健康増進と相互の親睦をはかり、明るく朗らかな職場づくりを目指し、ひいては、本県教育の向上に資することを目的として、県教育委員会が過去12回にわたり実施して来たものを、諸般の事情から、公立学校共済組合がこれを継承し、福島市外5会場において3,212名の参加を得、9月5日県内一斉に開催した。各会場ともそれぞれの地区の実情によって最善の運営方法が検討され、実施されたこともあって和気あいあいのうちにも終始熱戦が展開された。